

「地域課題分野」（平成28年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
シラス堤防の浸透および越水に対する安定性に関する検討	鹿児島大学 酒匂 一成	B
<研究概要> 南九州地域の地盤は、その大半がシラスに覆われていることから、河川堤防の築堤材料としてシラスが含まれる土が用いられる。本研究では、シラス堤防の浸透および越水に対する安定性について、シラス堤防の被災事例、被災メカニズムを把握するとともに、実施されている堤防強化策の効果、シラス堤防の浸透や越水に対する安定性について検討し、シラス堤防の技術的課題について知見を高めることを目的としている		
<事後評価指摘事項> シラス堤防の基本特性について、多くの現地データを活用して検討されており、シラス堤防の安全照査解析に新たな有用な知見を与えていることから、研究目的は概ね達成している。 しかしながら、表題にある点（特に越水）についての検討（安全照査）がなされておらず、実験の定性的考察に留まっている。 今後は、シラス堤防として、ドレーン工について、より詳細な考察、越水に関する検討、実績データを使った研究成果の検証や今後の研究展開を期待する。		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとはいえない。